

学 年

2年

【図形の性質と証明】⑥平行四辺形になる条件(1)A

年 組 氏名 _____

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の①～④は、平行四辺形についていえることをまとめたものです。空らん適切な言葉をかきなさい。

①平行四辺形ならば、() がそれぞれ () である。[定義より]

②平行四辺形ならば、() がそれぞれ () 。[性質 (定理)]

③平行四辺形ならば、() がそれぞれ () 。[性質 (定理)]

④平行四辺形ならば、() が、それぞれの () で交わる。[性質 (定理)]

(2) (1)の①～④のことがらについて、それぞれの「逆」をいいなさい。

① _____

② _____

③ _____

④ _____

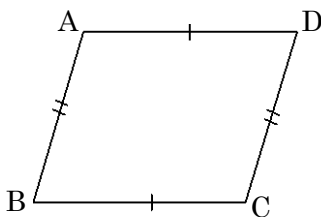
(3) (1)の①～④のことがらは正しいが、(2)で述べたその「逆」の文章①～④の中で、証明することなく正しいといえることがらを、番号で答えなさい。

答え _____

2 1 (2)の②～④のことがらが正しいことを、それぞれ証明しなさい。

② 次の四角形で、 $AB=DC$ ， $AD=BC$ ならば、 $AB//DC$ ， $AD//BC$ である。
(まず、対角線ACをひく。)

【証明】 対角線ACをひく。



学 年

2 年

【図形の性質と証明】⑥平行四辺形になる条件(1)A

年 組 氏名

〔Point〕【平行四辺形になる条件】

四角形は、次の条件のうちどれか1つが成り立てば、平行四辺形である。

- ① 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ平行である。……（定義）
- ② 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の向かい合う角（対角）がそれぞれ等しい。
- ④ 対角線が、それぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の向かい合う辺（対辺）が平行で、その長さが等しい。

1 (解答例) ※(1), (2)ともに②と③は反対でもよい。

(1) ① 2組の向かい合う辺（対辺） 平行② 2組の向かい合う辺（対辺） 等しい③ 2組の向かい合う角（対角） 等しい④ 対角線 中点(2) ① 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ平行である四角形は、平行四辺形である。② 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。③ 2組の向かい合う角（対角）がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。④ 対角線が、それぞれの中点で交わる四角形は、平行四辺形である。

(3) ① (定義だから)

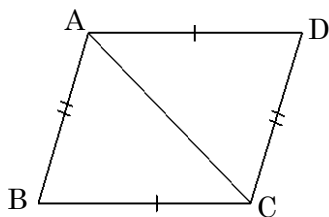
2 (解答例)

②

【証明】対角線ACをひく。

 $\triangle ABC$ と $\triangle CDA$ において仮定から $AB = CD$ $BC = DA$ また AC は共通

3辺がそれぞれ等しいので、

 $\triangle ABC \equiv \triangle CDA$ よって $\angle BAC = \angle DCA$ 錯角が等しいので $AB \parallel DC$ 同様にして $AD \parallel BC$ 2組の対辺がそれぞれ平行だから、
四角形 $ABCD$ は平行四辺形である。

学 年

2年

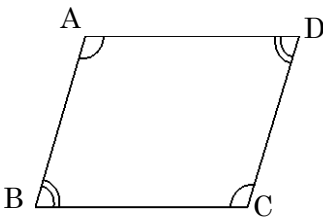
【図形の性質と証明】⑥平行四辺形になる条件(1)B

年 組 氏名

② ①(2)の②～④のことがらが正しいことを、それぞれ証明しなさい。

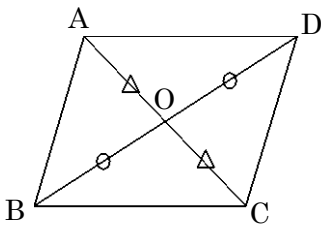
③ 次の四角形で、 $\angle A = \angle C$ ， $\angle B = \angle D$ ならば、 $AB \parallel DC$ ， $AD \parallel BC$ である。
(まず、ADの延長線上に点Eをとる。)

【証明】 ADの延長線上に点Eをとる。



④ 次の四角形で、 $OA = OC$ ， $OB = OD$ ならば、 $AB \parallel DC$ ， $AD \parallel BC$ である。

【証明】



学 年

2 年

【図形の性質と証明】 ⑥平行四辺形になる条件(1)B

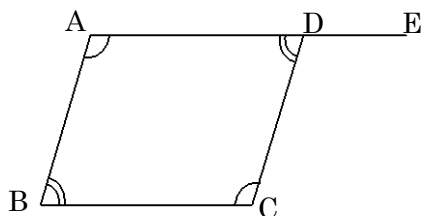
年 組 氏名

〔Point〕〔平行四辺形になる条件〕

四角形は、次の条件のうちどれか1つが成り立てば、平行四辺形である。

- ① 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ平行である。……（定義）
- ② 2組の向かい合う辺（対辺）がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の向かい合う角（対角）がそれぞれ等しい。
- ④ 対角線が、それぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の向かい合う辺（対辺）が平行で、その長さが等しい。

③



【証明】 ADの延長線上に点Eをとる。

四角形の内角の和は 360° だから

$$\angle A + \angle B + \angle C + \angle ADC = 360^\circ$$

$$\text{仮定から } \angle A = \angle C, \angle B = \angle ADC$$

$$\text{したがって } \angle A + \angle ADC + \angle A + \angle ADC = 360^\circ$$

$$\text{よって } \angle A + \angle ADC = 180^\circ \quad \dots\dots ①$$

$$\text{また } \angle EDC + \angle ADC = 180^\circ \quad \dots\dots ②$$

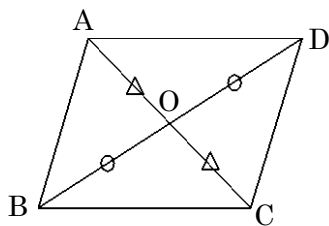
$$\text{①, ②から } \angle A = \angle EDC \text{ となり、}$$

$$\text{同位角が等しいので } AB \parallel DC$$

$$\text{同様にして } AD \parallel BC$$

2組の対辺がそれぞれ平行だから、
四角形 ABCD は平行四辺形である。

④

【証明】 $\triangle AOB$ と $\triangle COD$ において

$$\text{仮定から } AO = CO$$

$$BO = DO$$

$$\text{対頂角は等しいから } \angle AOB = \angle COD$$

$$\text{2辺とその間の角がそれぞれ等しいので、}$$

$$\triangle OAB \cong \triangle OCD$$

$$\text{よって } \angle OAB = \angle OCD$$

$$\text{錯角が等しいので } AB \parallel DC$$

$$\text{同様にして } AD \parallel BC$$

2組の対辺がそれぞれ平行だから、
四角形 ABCD は平行四辺形である。